

仙台グリーフケア研究会・JDGSプロジェクト主催

## 5回連続 悲嘆講座

参加  
無料

大切な人を亡くされた方のお話をお聞きする時、  
これでいいのかなと不安を感じたり、  
なんと声をかければよいか悩んだり、  
その方のお話にも自分もとても悲しくなってしまうたり・・・  
そんなことはありませんか？

この講座は「悲嘆（グリーフ）」に寄り添う上で必要な事柄を学ぶことができる  
悲嘆のケアに熟知した専門家による5回の連続講座です。

日程

注>1回目のみ、2回目のみ、といった参加も可能です

	日時	講師	題目
1	平成24年9月25日 (火曜日) 夜 7時～ 9時	高橋聡美 (つくば国際大学 教授)	「悲嘆（グリーフ）の基礎知識 ～支援の前に押さえて おきたいこと～」
2	平成24年10月5日 (金曜日) 夜 7時～9時	黒川雅代子 (龍谷大学短期大学 准教授)	「遺族のグループサポートの 方法とそのコツ」
3	平成24年10月26日 (金曜日) 夜 7時～ 9時	石井千賀子 (ルーテル学院大学TELLカウ ンセリング 家族療法家)	「家族が行方不明になった時 ～家族療法の立場から考える 子どもの支援～」
4	平成24年11月9日 (金曜日) 夜 7時半～ 9時 (開始時間にご注意下さい)	村上典子 (神戸赤十字病院 心療内科部長)	「遺族が医療機関を利用する時 ～心療内科医の経験から～」
5	平成24年12月14日 (金曜日) 夜 7時～ 9時	瀬藤乃理子 (甲南女子大学 准教授)	「支援者の共感性疲労への対処 ～長期の支援に役立つスキル～」

場所：いずれの回も 仙台市シルバーセンター 第1研修室 (JR仙台駅から徒歩7分)  
宮城県仙台市青葉区花京院1-3-2 電話 022-215-3191 <http://www.sendai-hw.or.jp/silver.html>

対象：被災者やご遺族の支援に携わっている方、ご遺族のケアに関心のある方、学生も可

お申し込み：当日、配布資料を用意したいと考えておりますので、人数把握のため、事前に  
メールまたはお電話でお申し込み下さい。(氏名、連絡先、希望日、ご職業等をお知らせ下さい)

仙台グリーフケア研究会 メール [griefoffice@gmail.com](mailto:griefoffice@gmail.com)  
電話 070-5548-2186

・研修会終了後、ご希望の方には講師を交えた簡単な懇親会がございます。

## 講師のご紹介

### <9月25日 講師ご紹介> 高橋 聡美 先生 つくば国際大学 看護学科 教授

スウェーデンおよびアメリカで子どものグリーフサポートについて学ぶ。長年にわたり仙台グリーフケア研究会のメンバーとして遺族のわかちあいの会に携わる。2010年に子どものためのグリーフプログラムを仙台で開催し、震災後は子ども達のグリーフサポートを被災地各地で展開すべく活動中。2012年5月に著書『グリーフケア：死別による悲嘆の援助』をメチカルフレンド社より出版。

### <10月5日 講師ご紹介> 黒川 雅代子 先生 龍谷大学短期大学部 社会福祉学科 准教授

龍谷大学で遺族会「ミトラ」を運営する他、(株)公益社遺族会「ひだまりの会」、遺族会「神戸ひまわりの会」など、長年、さまざまな遺族会を通して遺族へのグループ支援活動を行っている。その他、京都府警察被害者等支援アドバイザー、日本DMORT研究会（災害死亡者家族支援チーム）監事を務め、病死の遺族だけでなく、災害時や突然死など、さまざまな遺族への支援経験をもつ。

### <10月26日 講師ご紹介> 石井 千賀子 先生

ルーテル学院大学 東京女子大学 非常勤講師 TELLカウンセリング・センター 家族療法臨床家

米国Butler大学大学院にて夫婦家族療法の修士号を取得。ルーテル学院大学附属人間成長とカウンセリング研究所(PGC)にて「だいじな人を亡くした子どもの集まり」を1998年に発足し、子どもと保護者のためのグループ活動とその研修に携わる。また、複雑な悲嘆を体験している家族に家族システムの視点からグリーフ・カウンセリングを行う。2012年3月、行方不明者家族の支援を学ぶため渡米。

### <11月9日 講師ご紹介> 村上 典子 先生

神戸赤十字病院 心療内科部長、心療内科医

心療内科の臨床を通して、病死、自死、事故、災害など様々な遺族のグリーフケアに携わる。JR脱線事故（2005年）を契機に「災害急性期からの遺族へのグリーフケア」をめざして「日本DMORT(災害死亡者家族支援チーム)研究会」を救急医らと共に設立し（2006年）、事務局長を務める。「グリーフケア」に関する講演を全国でおこない、ネットワークを広げている。

### <12月14日 講師ご紹介> 瀬藤 乃理子 先生

甲南女子大学看護リハビリテーション学部 准教授

長い間、終末期の子どもたちや、子どもを亡くされたご遺族への支援に携わっているほか、悲嘆のケアや複雑性悲嘆の診断などに関する数多くの執筆論文がある。また、支援者への支援として、今、欧米で注目をあびているマインドフルネスという考え方を取り入れたセルフケアの方法を広げている。

主催：仙台グリーフケア研究会

JDGS（Japan Disaster Grief Support）プロジェクト

後援：みやぎ心のケアセンター 仙台市精神保健福祉総合センター

宮城県医師会 仙台市医師会 仙台市立病院

\*JDGS（Japan Disaster Grief Support）プロジェクトは、東日本大震災後、震災のご遺族を支援するために立ち上がったプロジェクトです。詳しくはJDGSのHP「震災で大切な人を亡くされた方を支援するためのウェブサイト」 <http://jdgss.jp/> をご覧ください。

